

はつらつ  
ところっこ

## お客さんと話せるのが銭湯の良いところ！



こども銭湯大使  
あだちらいな  
**安達 来奈さん** (けやき台在住)

小学 5 年生。銭湯の魅力  
を子どもたちに広めるた  
めに日本銭湯文化協会が  
企画したこども銭湯大使  
の一人。  
銭湯で欠かせない飲み物  
は「やっぱり牛乳！」



▲今まで巡った各地域の銭湯スタ  
ンプラリー。銭湯巡りの旅は続く

のれんをくぐった先にあるのは、浴室  
から漏れる湯気の熱気、井戸端会議をし  
ている人たちの笑い声。多くの人が風呂  
道具を手に訪れるのは、古き良き日本の  
文化が残る銭湯。「銭湯ってすごく楽し  
いんです！」と熱く語るのは、こども銭  
湯大使の安達来奈さんだ。

安達さんが初めて銭湯に行ったのは昨  
年 5 月頃、小学 4 年生のときだった。き  
っかけは、銭湯が題材のテレビドラマ。  
「実際に銭湯に行ってみたら、湯船が広  
くて気持ち良い。他のお客さんも優しく  
声を掛けてくれるので、すごく楽しくて  
銭湯が大好きになりました」。

それから約 1 年半。ほぼ毎週末、同じ  
く銭湯好きのお父さんと各地の銭湯に足  
を運んでいる。今まで行った銭湯は約 60  
カ所。「遠くに出掛けたときは毎回のよ  
うに銭湯に行きます。お母さんには『ま  
た銭湯？』と笑われます。もちろん、所  
沢唯一の銭湯・弘法の湯も行きました。  
今まで行った銭湯は日誌にしているん  
です」。はにかみながらも誇らしげな  
笑顔で、ぎっしり書かれた日誌を  
見せてくれた。



▲レンガ作りの入り口と煙突が目印  
の弘法の湯 (金山町)

そんな銭湯愛あふれる安達さんが「銭  
湯の魅力をもっと多くの人に伝えたい」  
と応募したのが、日本銭湯文化協会が企  
画することも銭湯大使だ。そして今年 5  
月、銭湯への熱い思いが実を結び、全国  
で 4 人任命されたうちの 1 人としてこ  
ども銭湯大使に就任した。

安達さんがここまで熱中する銭湯の魅  
力とは一体なんなのか。「魅力はいろい  
ろあるけど、私が大好きなのは、知らな  
い人ともお話しできることです。家だ  
と一人か家族と入るくらいしかできな  
いけど、銭湯だといろいろな人と話せて楽しい。  
だから銭湯に行ったら必ず他のお客  
さんと話します」。大型の入浴施設とは  
違う、決して大きくはない、昔ながらの  
銭湯での裸の付き合いだからこそ、見  
知らぬ人同士の心をも裸にしてしまうの  
かもしれない。

「銭湯の魅力を伝えて、たくさんの人  
に銭湯に行ってもらいたい。特に、私と  
同じ世代の子たちに興味を持ってほし  
いです。銭湯ってすごくいいよ！」。「好  
き」があふれる安達さんの言葉には、銭  
湯に行きたくなる魅力がある。さあ、今  
夜は手ぬぐいを片手に銭湯ののれんをく  
ぐってみようか。(取材：佐々木)



▶安達さん手  
作りの銭湯新  
聞と銭湯日誌

## 今月のプレゼントクイズ！

出来たてのだんご全 5 種 6 本が 2 セット分も味わえる！  
**手作り焼だんごセット** (1,100 円相当×30 人)  
(焼だんご 2 本&磯部・つぶあん・こしあん・みたらし各 1 本×2 セット)



指定障害福祉サー  
ビス事業所がやき  
☎2941 - 4105  
北原町 935 - 1  
(土・日曜、祝休日  
定休/第 2・4 土・  
日曜除く)

上 新粉 100% のだんごは、生地作り  
から、焼くまでの全工程が手作り。  
地元醤油店の醤油を使った焼だんごの  
香ばしさは食欲をそそります。

働いているのは障害のある方たち。  
各自の得意分野を合わせて丁寧に作り  
ます。注文を受けてから焼き始めるの  
で、事前の電話予約がオススメです♪

### ◆今月のクイズ

8・11・12 面のクイズを解き、空欄に入る文字を順番につ  
なげると？

◆応募方法 (9 月 10 日(日)締め切り)

①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥  
電話番号⑦9 月号の感想を記入し、〒359 - 8501  
広報課に郵送・市庁 (Q プレゼント) で応募  
◎当選者の発表は、引換券の発送をもって代えさせていた  
だきます。

◆プレゼント提供事業者も募集中！

詳細は、市庁 (Q プレゼント募集) をご覧ください。



市庁

## 読者感想文

- 特集がタイムリーで良かったです。大きな川のない地域に住んでいるからこそ、豪雨の際は逃げ場のない水や下水があふれる内水氾濫もありそうです。できることから取り組みたいと思いました (若狭・40 代男性)
- 水のうを初めて知りました。いざというときに使ってみます (久米・70 代女性)
- マンションなので安心してましたが、内水氾濫という恐ろしさがあると知り、備えておこうと思いました (けやき台・30 代女性)
- 編集から●「知らなかった」という声が多かったのが内水氾濫。「うちは大丈夫！」という油断が危険です。普段から情報が入手できる

ように、ほっとメールの登録 (QR コードから空メール) も忘れずに！



- 表紙に市民カメラマンの表記がありますが、紙面に掲載されている全部の写真を撮影しているのですか？ (若松町・70 代男性)
- 編集から●クレジット表記があるものが市民カメラマンの作品です。16 面に毎号必ず掲載するほか、表紙などを撮影しています。9 月 25 日(月)～27 日(水)は市民カメラマン作品展示会 (10 面参照) がありますので、ぜひお越しください。



## 編集後記

現場の熱気、生き生きとした人々の表情。市内のイベントなどで活躍する市民カメラマンの写真は力作ぞろい。泣く泣く掲載を見送った作品から厳選して、展示会を開催します。乞うご期待 (加賀谷)

ソラバルに参加しました。行列ができていいる店や売り切れの店もあり、イベントの定着と盛り上がりを実感。同じ「ソラ」を冠した空飛ぶ音楽祭 (2・3 面参照) も盛り上がってほしいです♪ (鹿島)

こども銭湯大使の安達さんを取材しました。取材中、「これ知ってますか？」と見せてくれた写真に写るのは「わ」と書かれた板。「わ」板 = (湯が) わいた = 営業中という意味で、言葉遊びの一つだそう。洒落好きだった江戸時代の人々の粋な文化で、今も一部の銭湯に残っているそうです。銭湯をきっかけにその歴史や文化を学んでいる安達さんの姿に頭が下がる思いでした。好きってすごい！ (佐々木)